

こまきこども未来館受付業務及び講座開催委託プロポーザル実施結果

こまきこども未来館受付業務及び講座開催委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者（以下、「最適者」という。）として、特定非営利活動法人10人村を選定した。なお、次点者については該当なし。

1. 審査結果

最適者	商号または名称	特定非営利活動法人10人村
	代表者氏名	理事長 虫明達夫

2. 審査日程

項目	日程
プロポーザル審査委員会（実施要領等説明）	令和5年10月19日
実施要領等発表 （窓口配布及び市ホームページに掲載）	令和5年10月30日
募集説明会参加申込み期限	令和5年11月13日
募集説明会	令和5年11月20日
質疑受付（質疑なし）	令和5年11月22日 ～令和5年12月1日
質疑回答（質疑なしのため未実施）	令和5年12月8日
参加表明書等の提出期限	令和5年12月11日 ～令和5年12月22日
書類審査	令和5年12月26日
提案審査（プレゼンテーション）	令和6年1月15日
結果発表（公表・通知）	令和6年 月 日

3. 審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	こども未来部長	川尻 卓哉
委員	学識経験者	玉置 崇
委員	学識経験者	長江 美津子
委員	小牧市児童館運営委員会委員	植松 浩二郎
委員	小牧市児童館運営委員会委員	中野 江美子

4. 評価基準

審査	評価項目	評価事項
書類審査	参加資格	募集説明会に参加しているか。
		実施要領に定める失格要件に該当してしないか。
		実施要領に定める提出書類が全て提出されているか。

	見積金額	(最安提案価格/提案価格) × 10 (有効桁数は、小数点以下第2位とし、小数点以下第3位を四捨五入)
	職員配置	業務実施にあつて、適正な人員配置が計画されているか。 業務の一元化にあたり、効果的・効率的な人員配置が計画されているか。
提案審査	業務内容の理解	仕様書に定める受付業務、講座開催業務を十分に理解している提案であるか。
	講座開催の実施	こどもが意見を述べる場の提供やこどもが主体的に参画する企画・運営が提案されているか。
		利用者層に合わせた講座を開催する提案となっているか。特に中高生を対象とした提案がされているか。
		こども未来館の施設、備品を有効利用した提案となっているか。また、こども未来館だけでなく、まなび創造館など既存の施設の有効利用する提案がされているか。
		地域住民や市民団体、企業等との連携による講座や体験活動が提案されているか。
		職員講座等を実施するための人材が確保されているか。
	業務の実現性	提案内容に実現性はあるか。
先進性および独創性	独自の提案やアピールポイントが明確に示されているか。	

5. 審査経過

<書類審査> (令和5年12月26日)

応募者2者に対し、事務局にて書類審査を行った結果、参加資格を満たしていたため、提案審査(プレゼンテーション)の出席要請を行った。

<提案審査(プレゼンテーション)> (令和6年1月15日)

実施要領に示される評価基準に基づき、提出された事業計画書の内容審査を行い、こまきこども未来館受付業務及び講座開催について、技術的に最適な事業者を選定するため、委員が各評価事項に対する評価を行い、最適者(受託者)を特定した。

6. 総評および講評

本プロポーザルは、こまきこども未来館受付業務及び講座開催について、技術的に最適な者を特定するため公募型プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分に配慮されているかということについて、参加資格、事業の遂行能力、業務実施の内容等の3つの観点から審査を行い、以下のとおり講評することに至った。

○最適者

市内の児童館運営やこれまでのこども未来館での講座等運営の実績からしっかりと未来館の強み弱みが分析されているとともに、「未来リテラシーを育む」というコンセプトを体現する提案であったため、最適者（受託者）として選定した。

○不適者

総体的に講座開催業務に関する内容について、明確に示すことが出来なかったため、受託するには難しいと判断した。